

社会科学学習指導案

I 単元 日本歴史 ―新たな日本の出発―

II 考察

1 教材観

(1) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

日華事変，我が国にかかわる第二次世界大戦，日本国憲法の制定，オリンピックの開催などについて調べ，戦後我が国は民主的な国家として出発し，国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かる。【(1)ケ】

(2) 培われる主な資質・能力

- ・歴史上の事象に関わる人物の働きや文化遺産などに関心を持ち，意欲的に調べるとともに，我が国の歴史や伝統の大切さ，歴史を学ぶ意味を考えようとする態度
- ・歴史上の事象から問題を見出し追究し，人物の願いや働き，文化遺産の意味を考え，表現する力
- ・歴史上の事象についての的確に調査したり，各種の基礎的資料を活用したりして，必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりする力
- ・自分たちの生活の歴史的背景，我が国の歴史や先人の働きを理解する力。

(3) 教材や学習対象の価値

本単元では，戦後の我が国の復興・発展の様子を対象として学習を行う。その価値は以下のとおりである。

戦後の我が国の復興・発展の様子として，民主化を果たした戦後の改革，国際社会への復帰や工業技術の進歩及び産業の発展により招致したオリンピックの開催，それらとともに向上した国民生活などを調べることで，敗戦を経験した人々が，平和への願いや思いを実現させようと民主的な新しい国家づくりに向かって不断の努力を重ねたことや，我が国が諸外国との関係を改善・進展させながら国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを具体的に考えることができる。また，これらの事象を追究することは，現在の社会や自分たちの生活の歴史的背景を理解するとともに，我が国の歴史への興味・関心を高めることができる。

そして，我が国の歴史への理解を基に，国際社会に関わる今日的な諸問題から我が国の果たすべき役割について考えることは，これからの未来に生きる社会の一員として，問題に向き合うことへの必要性や大切さについての関心を高めることができる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、6年「わたしたちの生活と政治―わたしたちの願いを実現する政治―」で、国民生活の安定と向上を図るための政治の働きを理解する学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、6年「日本の歴史―戦争と日本の様子―」で、日華事変や我が国にかかわる第二次世界大戦と当時の国民の生活とを関連付けて考え、戦争により国民や諸外国が大きな被害を受けたことを理解する学習に取り組んできた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、以下のとおりである。

- ・日華事変や我が国にかかわる第二次世界大戦について、その経緯や戦争の様子などを意図的に調べ、昭和の戦時中における我が国の歴史への興味・関心を高めてきた。このような子どもたちが、戦後の我が国の復興・発展の様子について、自ら問題を見出して追究できるように、終戦直後と復興後の日本の街並みや人々の生活の様子を比較できる資料を基に、疑問点や調べたいことを話し合う活動を設定する。
- ・戦争被害の大きさについて日華事変や我が国にかかわる第二次世界大戦の様子と国民生活とを関連付けて考えられるようになってきている。このような子どもたちが、戦後我が国が民主的で平和な国家として再出発したことと国民の生活の変化や国際的な役割とを関連付けて考えられるように、我が国の復興・発展の歴史的背景について図に表しながら話し合う活動を設定する。
- ・日華事変や我が国にかかわる第二次世界大戦について教科書や資料集などを活用し、問題解決に必要な情報を収集したり選択したりできるようになってきている。このような子どもたちが、個別追究の際に収集した資料から適切な情報を読み取ったり、情報を整理してまとめたりできるように、観点ごとに情報を整理できる図を提示する。
- ・日華事変や我が国にかかわる第二次世界大戦により、国民が大きな被害を受けたことや我が国が周辺諸国に大きな損害を与えたことを理解してきている。このような子どもたちが、戦後我が国が民主的な国家として出発し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解できるように、今日まで我が国が様々な国際貢献をしてきたことが分かる資料を提示する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい 我が国の復興・発展の様子について予想し、見出せる観点や共通課題と観点との関係性を話し合うことを通して、追究の観点や追究の順序について見通しを立てる。
- 2 準備 サンフランシスコ平和条約調印、日本国憲法の原文、東京オリンピックの開会式、家電製品販売の様子についての資料
- 3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通課題について考えるために、何を調べていけばよいかはっきりさせないとな。 <p>2 共通課題についての予想や追究の観点を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの人と国旗が見えるな。外国との関係をよくしたことで、復興につながったのかな。 ・ 戦争の反省から外国の人と一緒に憲法を考えて、世界の人の前で発表したと考えたのか。 ・ たしかに新しい憲法をつくって、みんなで協力や努力することが復興には大切そうだな。 ・ 予想のまとめりから外国との関係をよくしたり、新しい憲法をつくったり、技術が発達したりしたと言えそうだな。 <p>3 学習計画を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国との関係をよくして協力してもらったから復興できたと考えたみたいだけど、ぼくは政治が変わったことの方がつながりが強いと思うな。 ・ なるほど、政治が変わったから、外国との関係もよくなったし、技術も高まったと考えたのか。まずは「政治の仕組み」で、次に「外国との関わり」を調べるとよさそうだな。 <p>4 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次から戦後の政治と復興・発展の関係を調べていこう。 	<p>○「戦後の日本の復興・発展の様子について調べる計画を立てよう」という本時の学習の見通しをもてるように、前時につかんだ共通課題を確認し、本時の活動を問いかける。</p> <p>☆共通課題に対する予想を考えられるように、サンフランシスコ平和条約調印、日本国憲法の原文、東京オリンピックの開会式、家電製品販売の資料を提示し、予想するよう促す。</p> <p>○互いの予想の共通点や相違点を共有できるように、資料を基に日本の復興・発展について予想したことを発表するよう促す。</p> <p>☆日本の復興・発展についての予想を視覚的に分類して捉えられるように、整理して板書する。</p> <p>☆追究する観点を考えられるように、予想のまとめりごとの要点を小グループで話し合うよう促す。</p> <p>○「国際関係」「政治」「国民生活」といった追究する観点を学級全体で確認し合えるように、予想のまとめりごとの要点や要点を見出した理由を発表するよう促す。</p> <p>☆追究する観点の順序を考えられるように、共通課題と追究の観点との結び付きの大きさを視点として提示し、視点に沿って話し合うよう促す。</p> <p>☆追究する観点の順序を決定できるように、追究する観点の順序とその理由を学級全体で検討する場を設定する。その際、観点同士の関係性を視点として提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">— 評価項目 —</p> <p style="text-align: center;">戦後の日本の復興・発展の様子を追究するための学習計画について記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言（2）></p> </div> <p>○これからの追究への意欲を高められるように、学級全体で学習計画を立てたり、次時に追究する観点を明確にもてたりしたことを賞賛する。</p>

指導と評価の計画（全9時間）

単元	新たな日本の出発		
目標	我が国の復興・発展に向けた取組から、民主国家を目指した人々の努力の様子や願いについて考え、戦後我が国が平和で民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解する。		
評価規準	<p>(1) 戦後の国民生活の向上や経済成長に関心をもち、進んで調べようとしたり、これからの我が国の国際的な役割を考えようとしたりしている。</p> <p>(2) 戦後の日本の復興・発展の様子について問題や予想、学習計画を考えたり、平和で民主的な世の中への変化を人々の生活の様子や我が国の国際的な役割の変化と結び付けて考えたりして、表現している。</p> <p>(3) 戦後の民主的な政治改革や諸外国との関係改善、オリンピックの開催、産業の発展の様子などについて、年表・グラフ・地図などを活用し、適切な情報を読み取ったり、整理したりしている。</p> <p>(4) 戦後我が国が平和で民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。</p>		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点（☆は、研究上に関わる手立て）
課題をつかむ	1	○戦後の日本の様子について疑問点や調べたいことを考え、問題意識をもつ。 共通課題 戦後、日本はどのようにして復興・発展してきたのだろう。	○戦後の日本の復興・発展について疑問点や調べたいことが考えられるように、終戦直後と東京オリンピック開催頃、現在の日本の街並みや人々の生活の様子を比較できる資料を提示する。
	1 本時	○戦後の日本の復興・発展について予想し、学習計画を立てる。 ＜調べる観点＞ ・政治の仕組み ・外国との関わり ・人々の暮らし	☆追究の見通しをもてるように、サンフランシスコ平和条約調印や日本国憲法の原文、東京オリンピックの開会式、家電製品販売の様子が分かる資料から、問題に対する予想や学習計画を話し合う活動を設定する。
追究する	2	○観点に沿って戦後の日本の復興・発展の様子を調べる。	○戦後の日本の復興・発展の歴史的背景について自分なりの考えの根拠を明確にしてまとめられるように、観点ごとに問題に対する考えを整理する図を提示する。
	1	○調べたことを基にした戦後の日本の復興・発展の歴史的背景について交流する。	☆戦後の日本の復興・発展の歴史的背景について自分なりの考えを捉え直すことができるように、小集団で互いの考えを交流する活動を設定する。
	1	○戦後の日本の復興・発展の過程と人々が目指した新たな国について話し合う。	☆日本が平和で民主的な国家として出発し、国民生活が向上してきたことを理解できるように、学級全体での交流を基に問題に対する考えを再考する活動を設定する。
まとめる	1	○これからの日本が世界の中で果たすべき役割について考え、問題意識をもつ。 共通課題 今後、日本はどのような問題の解決を目指すべきだろう。 ＜今日的諸問題例＞ ・領土問題 ・軍事問題 ・食料問題 ・人権問題 ・環境問題 ・エネルギー資源問題	○日本が果たすべき役割に対して自分なりの考えをもてるように、復興・発展に伴って変化した国際社会における日本の役割や国際社会に関わる今日的な諸問題が分かる資料を提示する。
	2	○問題について調べ、これからの日本が果たすべき役割や日本の歴史に対する自分の考えをまとめる。	○国際社会において求められる日本の役割についての理解を深められるように、互いの主張を基に小集団で問題に対する考えを決定する活動を設定する。
			評価項目＜評価方法（観点）＞
			◇戦後の日本の復興・発展についての疑問点や調べたいことを記述したり、発言したりしている。 ＜学習プリント・発言（1）＞
			◇戦後の日本の復興・発展を追究するための学習計画について記述したり、発言したりしている。 ＜学習プリント・発言（2）＞
			◇政治の仕組み、外国との関わり、人々の暮らしの観点に沿って調べたことを整理している。 ＜ノート・図（3）＞
			◇他者の考えを基にして見直した自分の考えを記述したり、発言したりしている。 ＜図・発言（2）＞
			◇我が国が平和で民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを発言したり、記述したりしている。 ＜発言・ノート（4）＞
			◇国際社会において日本が果たすべき役割について、自分なりの立場を発言したり、記述したりしている。 ＜学習プリント・発言（1）＞
			◇歴史学習を基に、これから日本の役割について自分の感想を記述している。 ＜ノート（4）＞